

「2023 東海村はたちの集い」実行委員を募集します！

令和5年1月7日(土)に開催予定の「2023 東海村はたちの集い」の企画・運営を行う実行委員を募集します。式典パンフレットの作成やはたちの誓いなど、アイデアを出し合い、「一生に一度の思い出づくり」をプロデュースしませんか。

対象▼村内在住で、▽平成14年4月2日～平成15年4月1日に生まれた▽実行委員会(8月～12月に5回程度開催)に出席できる——を満たす方

定員▼各中学校区ごとに5人程度

その他▼▽実行委員会は、感染拡大の状況によりメール等での開催となることがあります。▽感染症対策のため、式典は中学校区ごとの2部構成での実施を予定しています。▽式典の開催時間など詳細は、決まり次第「広報とうかい」や村公式ホームページ等でお知らせします。

申し込み・問い合わせ▼7月16日(土)までに、電話で中央公民館(☎282-3329)へ申し込みください。

■「はたちの集い」は当該年度に20歳になる方が対象です

民法改正により、令和4年4月から成人年齢が満18歳となりましたが、村では今後も、当該年度に20歳となる方を対象に「はたちの集い」を開催します。

■対象者へ案内状を送付します

「2023 東海村はたちの集い」の参加対象は、平成14年4月2日～平成15年4月1日に生まれた方です。対象者には、10月下旬以降に案内状を送付します。

■住民票を村外へ移している方へ

住民票を村外に移している方で参加を希望する場合は、右QR(二次元コード)から、案内状の送付を申し込みください。



「保育」という おしごと

—保育者からのメッセージ—



大好きな子どもたちの思いに共感しながら
その成長をそばで見守ります

私は幼稚園に通っていた頃、担任の先生のが大好きでした。いつもニコニコ明るい笑顔で話を聞いてくれる、優しい先生。その先生のおかげで、私は次第に園に通うことが大好きになっていきました。「いつか自分も、あのようになりたい先生になりたい」。大きくなるにつれてその思いが強くなり、今は保育教諭として働いています。

毎日子どもたちと生活を共にしている中で、小さなことでも成長を感じられたとき、まるで自分の事のようにうれしくなります。子どもの成長をそばで見守ることができたり、成長するための手伝いができたりするこの仕事は、やりがいにあふれた素晴らしいものだと感じています。

自分には思い付かない発想力や想像力をたくさん持っている子どもたち。砂利の中に入っている小さな透明の石を見つけて「先生見て〜！宝石見つけた〜！」と目をキラキラさせていたり、広告紙一枚でも剣や冠、スカートに見立てて楽しそうに遊んでいたり。保育者はそんな子どもたちが創造したもので発見したものに共感し、共に楽しみながら日々保育しています。

屋外で遊んでいたときの話です。アリの巣を発見した男の子が「先生！アリの巣見つけた！アリの巣って何個もあるけど、こっちが出口でこっちが入口かな？」と目を輝かせて話をしてくれたのです。このように私たちが普段見ている何気ない光景でも、子どもたちにとっては常にワクワクドキドキの毎日です。私はこれから、子どもたちのキラキラとした発見やつぶやきを逃すことなく、その思いに共感し、共に成長していける保育者でありたいと考えています。

保育者となり、たくさんの子どもたちと出会えた事や子どもたちと過ごした思い出は、ずっと私の大切な宝物です。「先生大好き！」。そう笑顔で伝えてくれるたびに、私はこれからも保育者として頑張っていこうという気持ちになれるのです。

大部美紅 保育教諭